

食品リサイクルループの構築

リサイクルループを構成するパートナーシップ

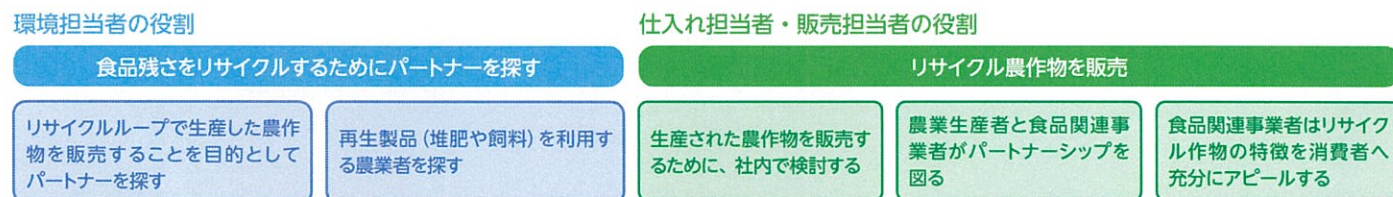
ユニー、再生利用事業者、生産者がそれぞれの役割を果たすことによって、リサイクルの環が完成します。食品を無駄にせず、ゴミも減らすことができる地球にやさしいライフスタイルです。リサイクルの環で作った野菜や肉、卵は安全安心でおいしく、作った人の顔の見える農産物です。そして、消費者が農産物を購入することで、リサイクルループが回り続けます。



<p>食品関連事業者</p> <p>食品循環資源を排出する店舗</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品算から異物を分別し、計量する ・分別マニュアルの作成と従業員教育の徹底 品質確保のために、適正に保管する ・冷蔵保管施設と専用容器の整備 	<p>再生利用事業者</p> <p>品質の高い再生製品（堆肥・飼料）を製造する</p> <p>農業生産者のニーズにあった再生製品を製造する</p>	<p>農業生産者</p> <p>トレーサビリティの確立（生産者の顔の見える農産物）</p> <p>農業生産者の生産技術と適正な再生製品（堆肥・飼料）によって、安全安心な農産物を提供してもらう</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

リサイクルループを有効に運用するために

店舗の所在地で食品リサイクルループを構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。ユニーでは、再生利用事業者を探し、優良な堆肥や飼料を製造してもらうことが環境担当者の仕事です。また、リサイクルで生産された農産物を仕入れ販売することは、商品部や店舗担当の仕事です。リサイクルループを円滑に推進するために、定期的に情報を交換し課題を解決しています。



2014愛知環境賞で銀賞を受賞

愛知県では、2005年からJAグループと連携し食品リサイクルを推進してきました。刈谷市の再生利用事業者のヒラテ産業とJAあいち経済連と行った堆肥化の取り組みです。この取り組みは、2007年に食品リサイクル法の再生利用事業計画として全国初の認定を受けました。同年には「第1回食品リサイクル推進環境大臣賞最優秀賞」も受賞しています。また一宮市のディーアイディーでも、同様の取り組みを開始し、2008年にリサイクルループの認定を受けています。

その後「エコ・ファーストの約束」に基づき、1府18県に拡大して15件の食品リサイクルループを完成させました。こうした取り組みが地域循環型モデルとして先駆的であり、他への波及効果も期待できると評価され、愛知環境賞での銀賞受賞にいたりしました。

地域に根差した循環型農業は、地産地消・食の安全にも繋がります。生物多様性にも貢献しています。今後はグループ企業であるサークルKサンクスや同業他社と一緒に地域循環圏の構築を目指します。



表彰式（右／大村愛知県知事、中央／表彰状 佐古社長、左／EPOC新美会長）

D.I.Dバイオマスリサイクルシステム・JAグループ（愛知県）



第22回「食品安全安心・環境貢献賞」を受賞

ユニーは、日本食糧新聞社が制定（農林水産省・環境省後援）した第22回食品安全安心・環境貢献賞を受賞しました。食品リサイクルループを中心としたステークホルダーとともに進める継続的な環境保全活動が評価されました。



各地で広がる食品リサイクルループ

ユニーは店舗を営業している各地域で食品リサイクルループを構築し、循環の環を継続していくことを目標としています。食品リサイクルループは、未利用食品を再生利用するだけでなく、消費者と農業生産者を結び、地産地消を実現する有効な手段でもあります。トレーサビリティも明確であり食の安全・安心にもつながります。食品リサイクル法の「再生利用事業計画」の認定を受けることによりリサイクルループの有効性と継続性を高めています。現在、店舗所在地の1府18県で15件のリサイクルループを構築しています（原発事故影響による福島県を除く）。



食品リサイクル普及に向けての取り組み

農業体験と生産者との交流

食品リサイクルループで生産された作物の収穫体験と生産者との交流会を定期的に行っています。消費者には、田畑の土に触れて、収穫の喜びと食べ物の大切さを実感してもらうほか、安全・安心な農産物作りにおける生産者の努力を知ってもらっています。



収穫体験

JAあいち海部 エコ部会

食品リサイクルループに当初から協力いただき地域循環型農業を実践しているJAあいち海部エコ部会では、毎年総会を開催し前年度の総括と次年度の計画を承認しています。エコ部会役員、仲卸業者、ユニー青果部で定期的に会合をもち、互いの意見のすりあわせを行い、リサイクルループの継続的発展を確認しています。



JAあいち海部 エコ部会総会